

校内研究は子供の学びや活動を豊かにする「栄養」です。  
開校する義務教育学校で行われる学習や諸活動が、子供たちの学ぶ意欲を高めたり、自尊感情を育んだり、主体性を伸ばしたりすることができるよう、指導する教職員の資質・能力をさらに高めることができる設計図を創り上げましょう！

## 義務教育学校開校に向けて

### 研究推進 WG

教育委員会 指導参事

# I 研究推進WGにおける協議事項

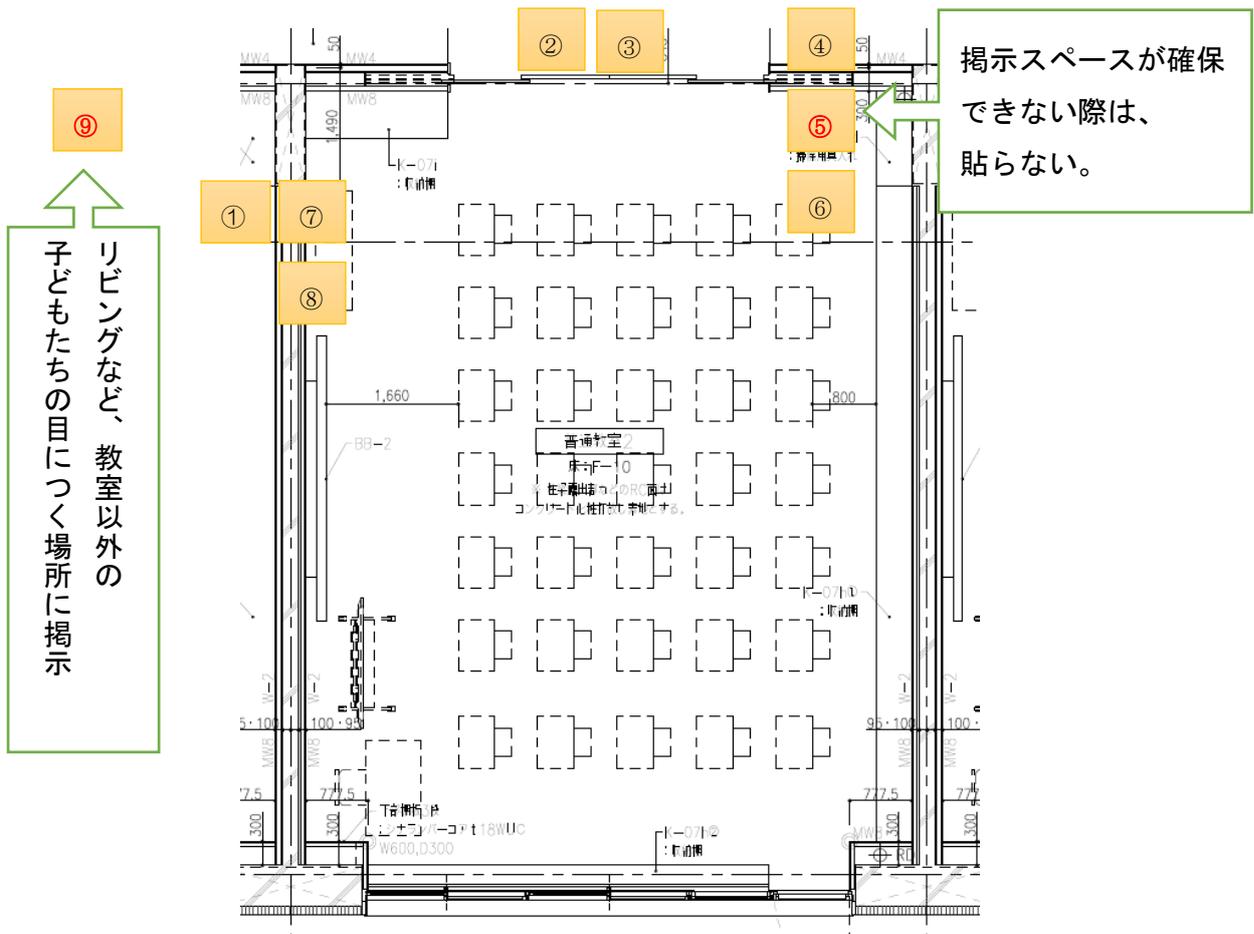
## 1 砂川学園における『教室掲示物』の内容や掲示場所

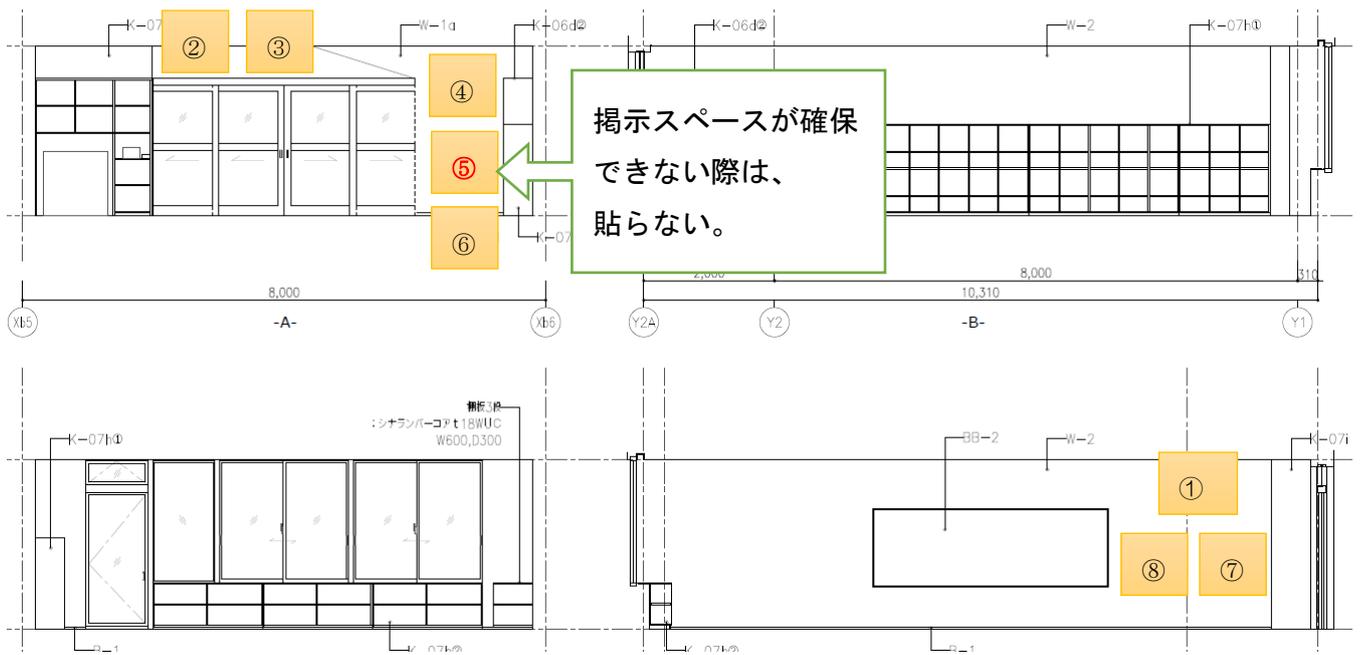
### (1) 掲示物

- ① 学校教育目標
- ② 学びの姿勢（※前期課程のみ）
- ③ 振り返りの仕方（★）⇒研究推進WGでステージごとの版を作る
- ④ 日課表
- ⑤ **よくわかる砂川学園 ※**
- ⑥ 学校生活のきまり
- ⑦ 給食献立表
- ⑧ 時間割
- ⑨ **9年間で身に付けてほしい力（育成を目指す資質・能力）**

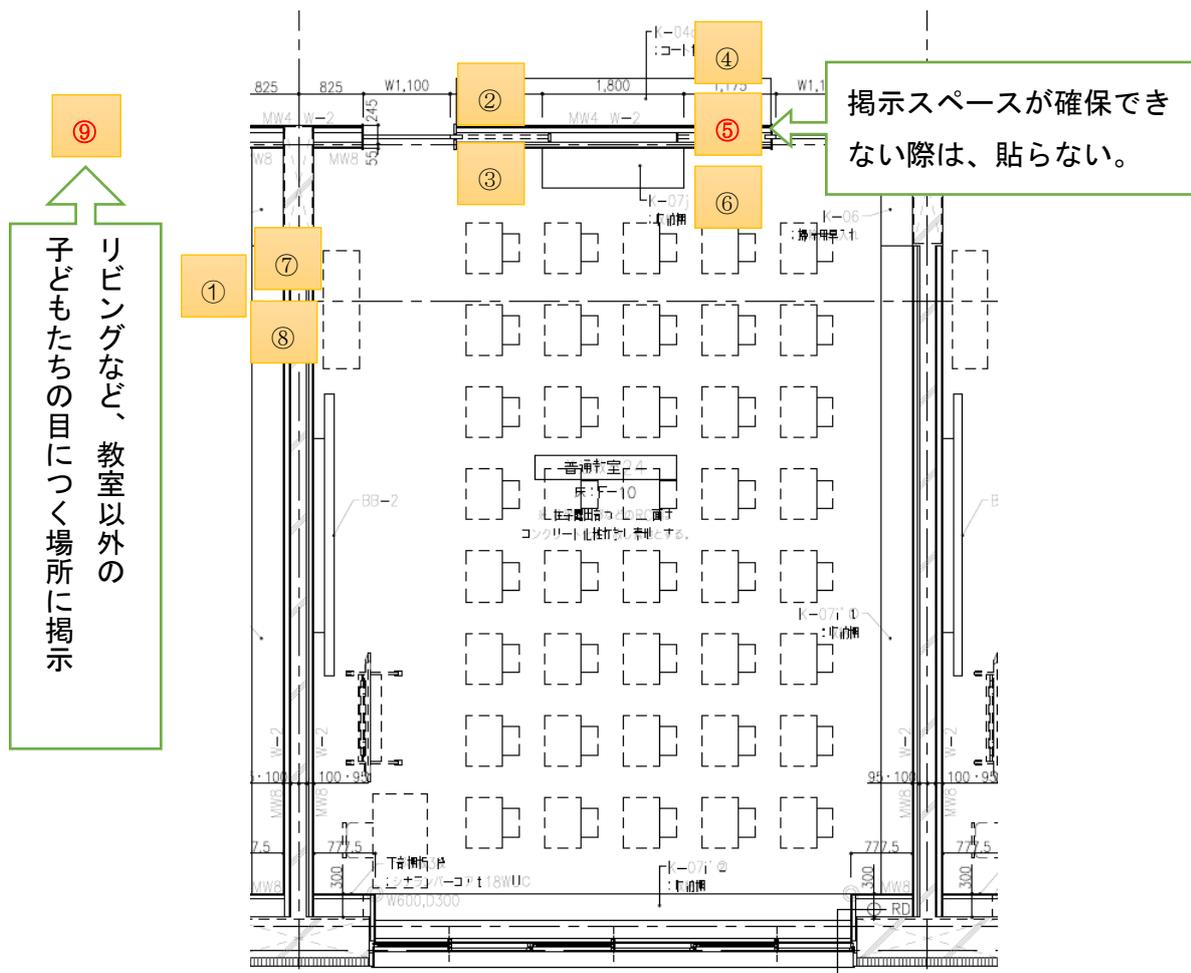
### (2) 掲示場所

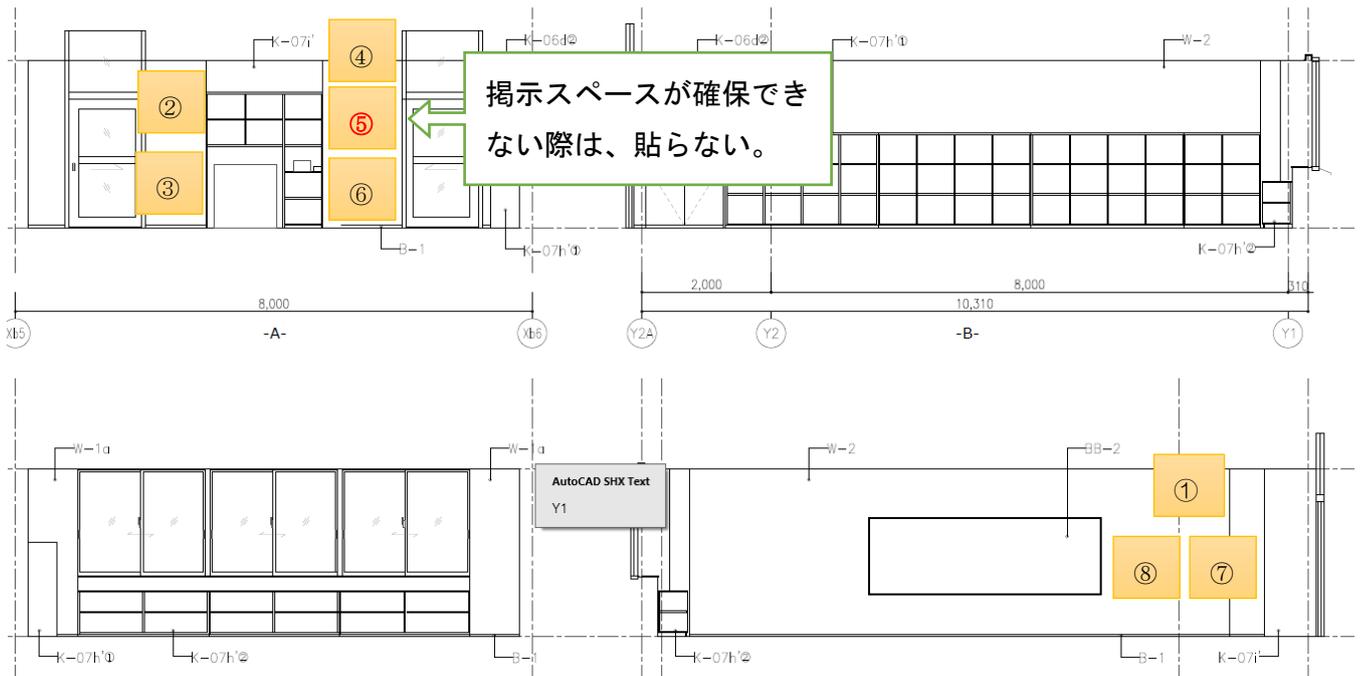
#### ① 1st・2nd ステージ





②3rd ステージ





## 2 「砂川市学習スタンダード」の見直し内容

### ■砂川市「学習スタンダード」(教職員版)

#### 1 はじめに

学習指導要領で示されている「3つの柱」

<身に付けさせる力>

「資質・能力」の3つの柱

「知識・技能」

「思考力・判断力・表現力」

「学びに向かう力・人間性」



砂川市小中一貫教育「全体構造図」による目指す児童像

目指す児童生徒像【確かな学力】

よりよく考え、自ら進んで学習に取り組む児童生徒

## 2 学びの姿勢

### (1) 学習のきまり

#### <授業前>

- ① 次の時間の準備をします。～教科書、ノート、筆記用具～机上整理→(2)
- ② 忘れ物をしたときは、休み時間のうちに先生に報告します。
- ③ チャイムが鳴り終わるまでに席に着きます。

#### <授業中>★正しい姿勢で座ります。

##### 【聞く】

- ① 話す人を見ながら最後まで聞きます。
- ② 自分の考えと比べながら聞きます。
- ③ 聞き終わったら返事をします。

##### 【発表する】

- ① 名前を呼ばれたら相手に聞こえるように返事をします。
- ② みんなに聞こえる声の大きさと語尾まではっきり話します。
- ③ 順序よく、整理して伝えます。

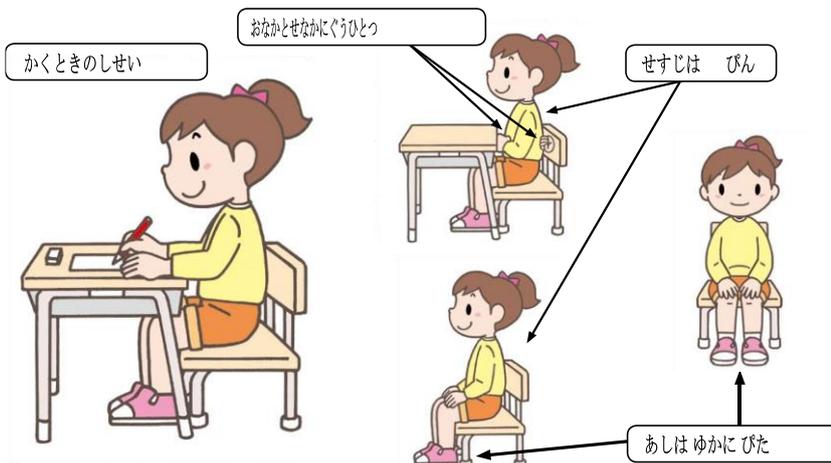
##### 【書く】 ※「課題」は青、「まとめ」は赤

- ① 正しい姿勢で書きます。
- ② 正しい鉛筆の持ち方で書きます。
- ③ ていねいに字を書きます。



#### <授業後>★次の授業の準備をしてから、休み時間に入ります。

### しせいのものさし ぐう・ぴた・ぴん。



(2) 机上の整理

鉛筆 シャープペンシル	1年 2B 2年 2BまたはB 3年～BまたはHB 7年～シャープペンシル可
色鉛筆 (青・赤)	1・2年は色鉛筆 3年～ボールペン可
消しゴム	四角いもの
15cm定規	1年生から使用 折りたたみ式不可



机の上には、学習に集中できるように余計な物は置かない。

基本的には、【鉛筆(シャープペンシル)・消しゴム・色鉛筆またはボールペン(青と赤)・定規】とし、柄はシンプルなもの。

端から定規・鉛筆・消しゴムの順(またはその逆)に置くと鉛筆を落とすことが少なくなる。「置く順序」や「縦向き・横向き」「位置」などは、状況に応じて対応する。

(3) 筆入れに入れる物

- ①鉛筆5本程度(シャープペンシル)
- ②色鉛筆(ボールペン)
- ③消しゴム
- ④定規(15cm)
- ⑤油性ネームペン(2年生以上)
- ※その他、教科や授業によって必要なもの
- ・蛍光ペン、のり、コンパス 等

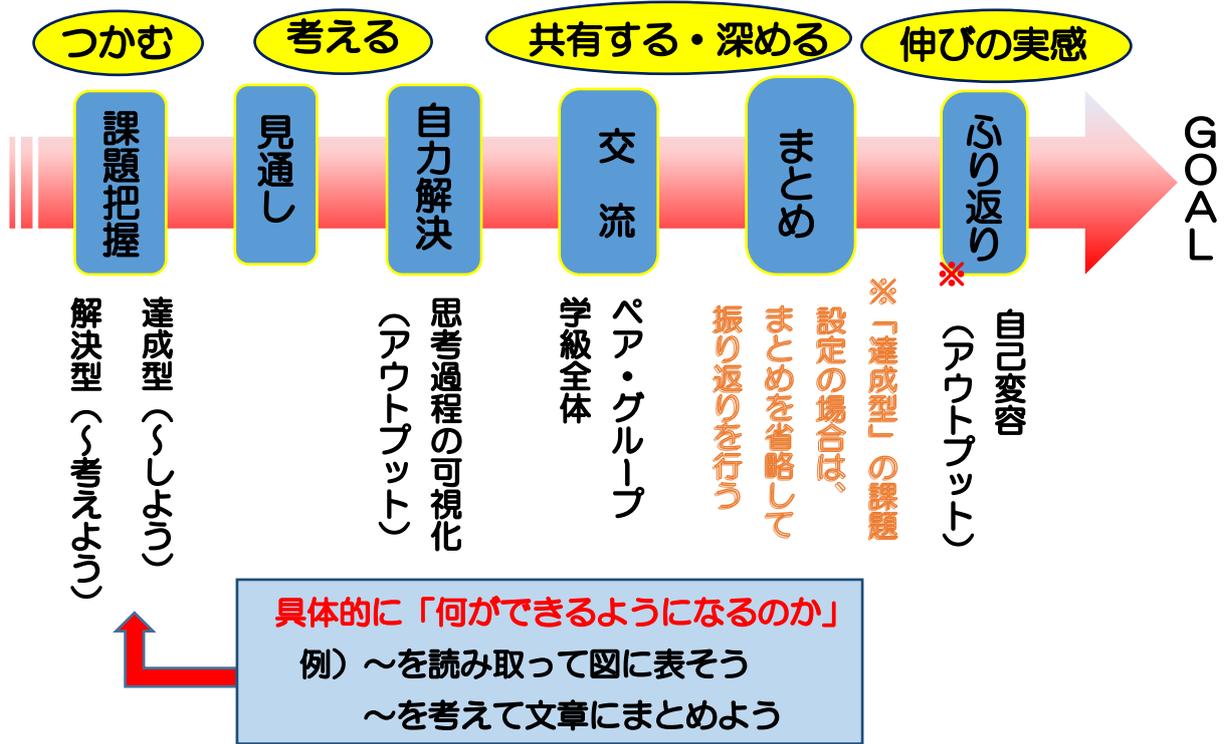
(4) 学習用ノート

学校では、ていねいな文字で学習内容をまとめるノート指導を充実させ、学力の定着を図るため、それぞれの教科で使用するノートを下表のとおりそろえます。

教科	1年生	2年生	3年生	4・5・6年生	7・8・9年生
国語	8マス 十字リーダー入	15マス 十字リーダー入	18マス 十字リーダー入	5ミリ方眼 十字リーダー入	大学ノート
算数	7マス 十字リーダー入	14マス 十字リーダー入	5ミリ方眼 十字リーダー入		
社会					
理科					
その他	【必要に応じて】 連絡帳・自由帳				

### 3 授業の流れ

(1) 1 単位時間の授業展開



(2) 振り返り

子供自身に「振り返り」の意義を実感させ、授業を通して「振り返り」の習慣化を図る工夫、次時の授業への期待を高めることや家庭学習などへつなげることが必要です。

【「振り返り」の指導ポイント】

- ◆ 「振り返り」の目的を子供たちに伝えること。
- ◆ 「振り返り」の時間をしっかり確保し、習慣化すること。
- ◆ 「課題」と「振り返り」がつながるように、振り返る視点を児童生徒に示すこと。

【振り返りの視点 (例)】

習得	• 学びの変容を振り返る	「〇〇が分かった。」 「〇〇ができるようになった。」 【例】 「登場人物の気持ちを読み取るには、その言葉や行動に着目すれば読み取れることが分かった。」
	• 学びの過程や結果を振り返る	「〇〇することが分かった。」 「〇〇することができるようになった。」 【例】 「いくつかの資料を比較して読むことで、江戸時代の農民と武士の生活の様子が分かった。」
	• 交流を振り返る	「〇〇な考え方もあるんだ。」 「Aさんはなぜ、こう考えたのだろう。」 (「問い」) 【例】 「最初はAさんの考えに反対だったが、話し合いを通して、Aさんの考えが少し理解できるようになった。しかし、自分は〇〇なので～」

		「(サーブは)上から打つ方が絶対いいと思っていたけれど、作戦タイムを通して、いろいろな打ち方を試してみようと思った。」
活用探究	<ul style="list-style-type: none"> <li>活用問題に取り組む</li> <li>他の単元、教科で活用する</li> <li>次につなげる</li> </ul>	<p>「〇〇でもできるかやってみよう。」「もっと〇〇について考えたい。」「もし〇〇だったらどうかな。」(「問い」)</p> <p>【例】「あさがおの育て方を勉強したので、今度は家でひまわりを育ててみたいと思いました。」</p> <p>「お礼状の書き方を学んだので、職場体験でお世話になった職場の方に、お礼状を書いてみたい。」</p>

■砂川市「学習スタンダード」(保護者版)

【保護者の皆様へ】 **砂川市立学校「学習スタンダード」**

1. はじめに

砂川市の学校では、市内統一した『学び方』(授業スタンダード)を設定し、どの学校でも同様の学びが進められることにより、6校が1校になった時の子どもたちの戸惑いを軽減させるとともに、市内全ての子どもたちに、学習指導要領で示されている3つの資質・能力を確実に身に付けさせ、「目指す児童生徒像」の実現に向けた小中一貫教育を推進します。

■■■■■■■■ 学習指導要領で示されている 「3つの柱」 ■■■■■■■■

<すべての子供たちに身に付けさせる力>

「**資質・能力**」の3つの柱

「**知識・技能**」

「**思考力・判断力・表現力**」

「**学びに向かう力・人間性**」

これまでの各教科等の「目標」「内容」の記述が、「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の資質・能力の3つの柱で再整理されました。このことによって、学習を通して『何ができるようになるか』という「育成を目指す資質・能力」が明確になりました。



砂川市小中一貫教育「全体構造図」による目指す児童生徒像

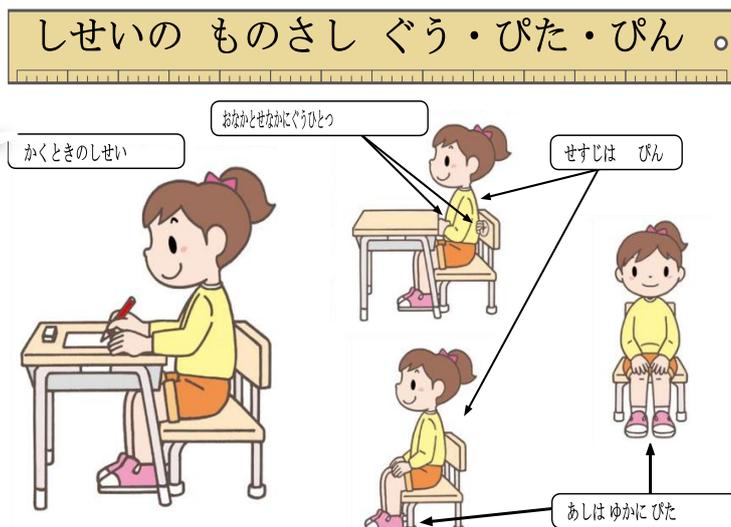
**目指す児童生徒像【確かな学力】**

よりよく考え、自ら進んで学習に取り組む児童生徒

## 2. 学びの約束

### (1) 授業を受ける時の姿勢

背筋を伸ばして正しい姿勢を身に付けることには、「持続力」や「集中力」がつくなど、学習効率の向上につながる効果があります。



### (2) 学習のきまり

#### < 授業前 >

- ① 次の時間の準備をします。～教科書、ノート、筆記用具 ⇒ (3) 机上の整理
- ② 忘れ物をしたときは、休み時間のうちに先生に報告します。
- ③ チャイムが鳴り終わるまでに席に着きます。

#### < 授業中 > ★正しい姿勢で座ります。

##### 【聞<】

- ① 話す人を見ながら最後まで聞きます。
- ② 自分の考えと比べながら聞きます。
- ③ 聞き終わったら返事をします。(同じです。いいです。他にあります。など)

##### 【発表する】

- ① 名前を呼ばれたら相手に聞こえるように返事をします。
- ② みんなに聞こえる声の大きさと語尾まではっきり話します。
- ③ 順序よく、整理して伝えます。

##### 【書<】 ※「課題」は青、「まとめ」は赤

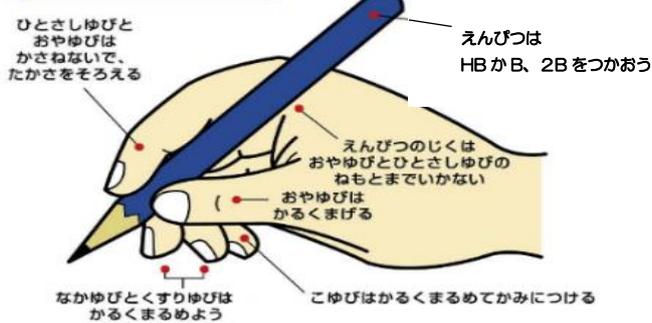
- ① 正しい鉛筆の持ち方で書きます。
- ② 正しい姿勢で書きます。
- ③ ていねいに字を書きます。



#### < 授業後 > ★ 次の授業の準備をしてから、休み時間に入ります。

# えんぴつのもちかた

## よいもちかた



## ★ご家庭でもお声掛けを！★

間違った持ち方が定着してしまうと、正しい持ち方に矯正するのは難しくなります。

「それなりに字が書けるなら、持ち方は関係ないのでは？」と思う方もいらっしゃるかもしれませんが、えんぴつを正しく持たないと、疲れやすかったり上手に書けなかったりしてしまい、その結果、長く学習を続けられない、姿勢が悪い、集中力や勉強への意欲低下につながるなど、学力低下の要因になることもあります。

### (3) 机上の整理

鉛筆 シャープペンシル	1年 2B 2年 2BまたはB 3年～ BまたはHB 7年～ シャープペンシル
色鉛筆 (青・赤)	1・2年は色鉛筆 3年～ ボールペン可
消しゴム	四角いもの
15 cm定規	1年生から使います 折りたたみ式は不可です



学習に集中できるように余計な物は置かず、「鉛筆 (シャープペンシル)・消しゴム・色鉛筆 (ボールペン 青と赤)・定規」を基本とし、柄はシンプルなものを推奨します。

### (4) 筆入れに入れる物 ★お願いします★

- 鉛筆5本程度 (シャープペンシル)
- 色鉛筆 (ボールペン)
- 消しゴム
- 定規 (15 cm)
- 油性ネームペン (2年生以上)

※その他、教科や授業によって必要なもの  
・蛍光ペン、のり、コンパス 等



分度器や定規は、目盛りの読みやすさの観点から、イラストのない透明でシンプルなものを用意してください。

(5) 学習用ノート

学校では、ていねいな文字で学習内容をまとめるノート指導を充実させ、学力の定着を図るため、それぞれの教科で使用するノートを下表のとおりそろえます。

教科	1年生	2年生	3年生	4・5・6年生	7・8・9年生
国語	8マス 十字リーダー入	15マス 十字リーダー入	18マス 十字リーダー入	5ミリ方眼 十字リーダー入	大学ノート
算数	7マス 十字リーダー入	14マス 十字リーダー入	5ミリ方眼 十字リーダー入		
社会					
理科					
その他	【必要に応じて】 連絡帳・自由帳				

(6) 学校に置いてよい物

学校では、子どもたちの道具の持ち運びに係る負担を軽減させるため、右の物を学校に置いてよいこととします。

★持ち物への記名を忘れずに！★



○教科書

(書写・生活・図工美術・音楽・道徳・技術家庭・保健体育)

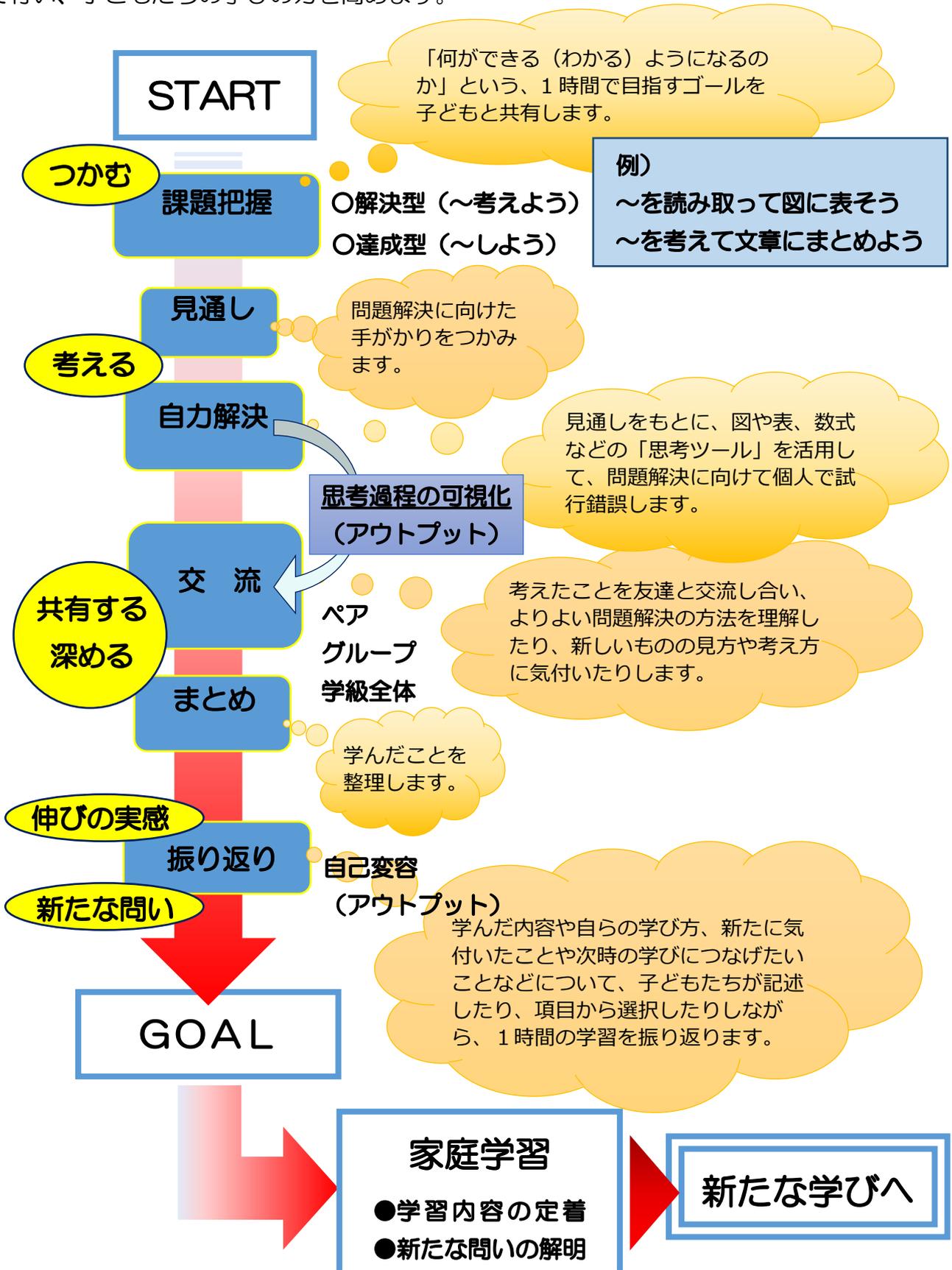
○リコーダー ○鍵盤ハーモニカ ○習字セット ○裁縫セット

○お道具袋 ○絵の具セット ○紅白帽子 ○とびなわ



### 3. 授業の流れ

砂川市内の学校では、各教科の1単位時間の授業について、以下のような流れを基本として行い、子どもたちの学びの力を高めます。



## スタートカリキュラム（砂川市立砂川学園）

スタートカリキュラムとは、学校へ入学した子どもが、こども園や幼稚園、保育園で培った遊びや生活経験を基盤として、新しい生活に素早く慣れるためのカリキュラムです。

砂川学園のスタートカリキュラムは、1年生担任が苦勞することなく授業等の計画を立てることができ、また、共通の視点で子どもの様子を見取ることができるようにすることをねらいに策定するものです。

### ＜大切にしたい視点＞

#### 1. 幼稚園・保育園等の経験を活かす。

これまで経験した活動（歌や遊びなど）を取り入れることで、興味をもって積極的に取り組むことができます。生活科を中心に取り組み、音楽、体育などで実践します。

#### 2. 合科的・関連的な指導（教科等横断的な視点をもって）を進める。

45分を1時間単位としたときに、スタート段階では長く感じてしまい、興味を失ったり、集中できなくなったりする状況が生まれます。これらを15分や22.5分などで内容を変えることで、活動に前向きになって取り組むことができます。

#### 3. 時間割を工夫する。

1時間目を歌や遊び、読み聞かせ等を中心とした活動とし、「なかよしタイム」と名付け、音楽や体育、国語等の時間で扱うことで、子どもの意欲を高めていきます。

入学式後、学校に慣れさせることを目的とし、以下の時間割とします。

・1日目 …3時間授業（行事・学活）入学式及び学級指導

・2. 3日目…3時間授業

1時間目 学活

2・3時間目 なかよしタイム（生活・音楽・国語）

・4～6日目…3時間授業

1時間目 なかよしタイム（生活・音楽・国語）

2・3時間目 教科

・7日目～GW前まで…4時間授業（給食あり）

1時間目 なかよしタイム（10日目からは児童の実態に応じて教科等を行う）

2・3時間目 教科

4時間目 教科（給食指導として、生活科・学活等の授業を入れる）

※参観日・懇談会の日 →5時間授業（なかよしタイムを2時間設定）

・GW明け…5時間授業（給食あり）

1～5時間目 教科

<GW 前に指導すべき事項>

◎生活を中心として、学活等で指導を行う。GW 前には終わらせる。

- 話し方・聞き方
- 机・椅子の使い方
- ロッカーの使い方
- チャイムに合わせた行動
- トイレ・水飲み場の使い方
- 靴箱の使い方
- プリントのしまい方
- 廊下の歩き方
- 職員室・保健室の入室退室、用事の伝え方
- 図書室・体育館等の特別教室の使い方
- 給食の準備・食べ方・片付け方

<GW 明け以降の指導>

- 日直
- 係活動
- 給食の当番
- 清掃活動

\* 4月当初は、9年生に協力してもらう場面を設定する。

<幼稚園・保育園との連携>

- 6月 …砂川市特別支援教育連携協議会による情報交換会
- 8月～11月 …砂川市子ども通園センター、市内幼稚園・保育所の参観
- 12月～1月 …砂川地区特別支援教育推進委員会による協議内容の共有
- 1月 …砂川市特別支援教育連携協議会による情報交換会
- 2月 …新1年生1日入学（保護者への説明会、新入学生の1年生との交流体験活動）
- 3月 …各保育所、幼稚園への見学・引き継ぎ

砂川市立砂川学園スタートカリキュラム一覽

	5 歳児	1 年生 4 月第 1 週	第 2 週	第 3 週	第 4 週	GW 以降
ねらい	これまでの経験を活かし、就学への期待を高める ・友達と協力してやりとげろ。 ・学校生活への期待を持つ。 ・文字や数字への関心を高める。	「はじめまして、砂川学園」 ・学校の準備の仕方を学び、自分で取り組む。 ・教師や友達の名前を知り、あいさつする。	「勉強に取り組もう」 ・友達と協力して活動に取り組む。 ・一人一人が自分の役割を理解する。 ・学習環境を整え、取り組む。	「仕事をはじめてみよう」 ・友達と協力して活動に取り組む。 ・一人一人が自分の役割を理解する。 ・学習環境を整え、取り組む。	「規則正しい生活をしよう」 ・時間割を理解し、意識しながら行動する。 ・学習する姿勢を身に付ける。 ・学習に対する意欲をもち、楽しんで学習する。	「これまでの経験を活かし、就学への期待を高める」 ・友達と協力してやりとげろ。 ・学校生活への期待を持つ。 ・文字や数字への関心を高める。
活動	・異年齢交流 ・ごっこ遊び ・学校探検 ・地域探検 ・体験入学 等	・学校探検 ・ゲーム ・上級生との朝学習交流 ・仲間づくり ・安全指導 ・読み聞かせ ・歌	・1 年生を迎える会 ・通学路探検 ・給食指導 ・休み時間の遊び ・自己紹介	・ひらがな・数字の学習 ・学級の仕事 ・様々な運動遊び ・外探検 ・並び方	・運動会へ向けて ・様々な学習 等	
大切にしている視点	「自分ご自信をもち、友達と認め合う」 「基本的習慣を身に付け、一日を見通して行動する」 「自分の意見や思いを伝え、相手の話を聞く」 「文字や数を使って遊び、学習に向かう力を身に付ける」	・教師や友達を知り、親しみを持つ。 ・新しい生活に、楽しみや期待をもち、さまざまなものに関わろうとする。 ・生活習慣やきまぐれを理解し、楽しい学校生活をスタートさせようとする。 ・一日の流れを理解し、時間を意識する。	・学級の友達の良いところを見つけて。 ・友達に関心をもち、話しかけるなど関わりを深める。 ・チャイムを聞き、時間を意識した行動をする。 ・休み時間と学習時間を切り替え、集中して授業に向かう。 ・自己紹介を通して、自分のことを言葉で伝え、相手の話をしっかりと聞き、理解する。 ・これまでの生活や遊びでの経験を小学校の学習につなげる。 ・簡単なひらがなや数字について遊びを通して学ぶ。	・授業や仕事のときに体験したことや、自分の言葉で伝えようとする。 ・話を聞いてもらえたら安心感と親しみをもち、 ・教材や道具を使って、学習を楽しむ意欲をもつて取り組む。 ・学習する姿勢を意識し、授業を受ける。	・自分の考えをもち、相手の意見も尊重する。 ・これまでの経験を活かし、自分の得意なものを新たに身につける。 ・授業時間と休み時間を一緒に楽しもう。 ・友達のルールを身に付ける。 ・授業時間と休み時間は友達と一緒に楽しく遊ぶ。 ・友達と楽しく遊ぶためのルールを話しあったり、相談したりしなから決める。 ・相手の意見を尊重し、一緒に活動する。 ・ノート等を活用して、文字や言葉を書くことができる。 ・授業を通して学習が分かる喜びを感じる。	・これまでの経験を活かし。 ・その時期のねらいを捉える。 ・4 つの視点の連動性を意識する。 ・今後の学校生活を見通す。
環境作り	子どもが小学校での生活や学習に楽しめるように配慮した指導を行う。	・学校の楽しさを伝える。 ・基本的な生活習慣や基本姿勢を身に付ける。 ・これまでの経験を活かし、自信をもって取り組ませる。 ・学校での生活の仕方を教える。 ・ユニバーサルデザインを意識し、教室環境を整える。	・新しい友達を作れるように配慮する。 ・給食に興味をもって、進んで食べられるようにする。 ・自分の役割を知り、友達と協力できるようにする。 ・学校のルールを定着させる。	・子どもが目標に到達できるように指導する。 ・学ぶ事への意識をもたせ、計画的に学習を進める。 ・「学びの芽生え」から「自覚的な学び」へつないでいく。		
地域・家庭との連携	○規則正しい生活習慣を身に付ける。 ○一人一人の成果を共有する。 ○就学への情報提供や相談をする。	・「よくわかる！砂川学園」を配布し、学校の約束を理解し子どもが意識できるように呼びかける。 ・子どもがスムーズに学校生活を送れるよう一人一人の姿を見取った内容について情報共有する。 ・子どもが家庭と連携した取り組みを行う。 ・授業参観や懇談会を通して、保護者と目指す子どもの姿を共有し、家庭と連携した取り組みを行う。 ・宿題を通して、望ましい学習習慣を身に付けさせるよう保護者に呼びかける。	・「よくわかる！砂川学園」を配布し、学校の約束を理解し子どもが意識できるように呼びかける。 ・子どもがスムーズに学校生活を送れるよう一人一人の姿を見取った内容について情報共有する。 ・子どもが家庭と連携した取り組みを行う。 ・授業参観や懇談会を通して、保護者と目指す子どもの姿を共有し、家庭と連携した取り組みを行う。 ・宿題を通して、望ましい学習習慣を身に付けさせるよう保護者に呼びかける。	・「よくわかる！砂川学園」を配布し、学校の約束を理解し子どもが意識できるように呼びかける。 ・子どもがスムーズに学校生活を送れるよう一人一人の姿を見取った内容について情報共有する。 ・子どもが家庭と連携した取り組みを行う。 ・授業参観や懇談会を通して、保護者と目指す子どもの姿を共有し、家庭と連携した取り組みを行う。 ・宿題を通して、望ましい学習習慣を身に付けさせるよう保護者に呼びかける。	・「よくわかる！砂川学園」を配布し、学校の約束を理解し子どもが意識できるように呼びかける。 ・子どもがスムーズに学校生活を送れるよう一人一人の姿を見取った内容について情報共有する。 ・子どもが家庭と連携した取り組みを行う。 ・授業参観や懇談会を通して、保護者と目指す子どもの姿を共有し、家庭と連携した取り組みを行う。 ・宿題を通して、望ましい学習習慣を身に付けさせるよう保護者に呼びかける。	
関係機関との連携	○砂川市特別支援教育連携協議会等での情報交換会 ○1 日入学 ○各幼稚園、保育所等からの情報収集、施設見学 ○幼保小引継ぎ交流会	・3 月に引き継ぎを行い、一人一人の様子や家庭環境などについて情報をつかむ。 ・幼稚園、保育園(所)で学んだ内容について理解し、学校の教育課程に活かす。 ・砂川市特別支援教育連携協議会にて、特別支援教育に関する情報を交換し、幼児教育・新1年生の教育の充実につなげる。 ・特別支援教育担当者による保育園(所)等訪問を年に数回行い、円滑な接続へつなげる。	・3 月に引き継ぎを行い、一人一人の様子や家庭環境などについて情報をつかむ。 ・幼稚園、保育園(所)で学んだ内容について理解し、学校の教育課程に活かす。 ・砂川市特別支援教育連携協議会にて、特別支援教育に関する情報を交換し、幼児教育・新1年生の教育の充実につなげる。 ・特別支援教育担当者による保育園(所)等訪問を年に数回行い、円滑な接続へつなげる。	・3 月に引き継ぎを行い、一人一人の様子や家庭環境などについて情報をつかむ。 ・幼稚園、保育園(所)で学んだ内容について理解し、学校の教育課程に活かす。 ・砂川市特別支援教育連携協議会にて、特別支援教育に関する情報を交換し、幼児教育・新1年生の教育の充実につなげる。 ・特別支援教育担当者による保育園(所)等訪問を年に数回行い、円滑な接続へつなげる。	・3 月に引き継ぎを行い、一人一人の様子や家庭環境などについて情報をつかむ。 ・幼稚園、保育園(所)で学んだ内容について理解し、学校の教育課程に活かす。 ・砂川市特別支援教育連携協議会にて、特別支援教育に関する情報を交換し、幼児教育・新1年生の教育の充実につなげる。 ・特別支援教育担当者による保育園(所)等訪問を年に数回行い、円滑な接続へつなげる。	

## スタートカリキュラム 第1週

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
朝の時間	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9年生の補助</li> <li>・お絵かきや読書等</li> </ul>			
朝の会		<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ</li> <li>・日程の連絡</li> </ul>			
1時間目		学活		なかよしタイム	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受付9:30</li> <li>・学級指導</li> <li>・並び方、返事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「きょうから1ねんせい」</li> <li>1年生になった喜びを友達と共有する</li> <li>学校でのきまりや約束の確認(トイレ等)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽「うたってうごいて みんなでおんがく」</li> <li>リズム遊び他、知っている歌等</li> <li>・図工「すきなかたち いろ なあに」</li> <li>お絵かき、塗り絵等</li> </ul>	
2時間目	行事	なかよしタイム		生活	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学式</li> <li>・写真撮影</li> <li>・学級指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽「うたってうごいて みんなでおんがく」</li> <li>リズム遊び他、知っている歌等</li> <li>・国語「おはなし ききたいな」</li> <li>読み聞かせ、言葉遊び等</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「わくわくどきどきすがわがくえん」</li> <li>学校内の遊具や校庭で好きな遊びをする</li> <li>児童一人一人の様子を確認</li> </ul>	
のびのびタイム		<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の様子確認</li> <li>・トイレ指導等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の様子確認</li> <li>・トイレ指導等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の様子確認</li> <li>・トイレ指導等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の様子確認</li> <li>・トイレ指導等</li> </ul>
3時間目		なかよしタイム		学活	国語
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽「うたってうごいて みんなでおんがく」</li> <li>リズム遊び他、知っている歌等</li> <li>・国語「おはなし ききたいな」</li> <li>読み聞かせ、言葉遊び等</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「1学期のめあて」</li> <li>登下校の安全指導</li> <li>学校でのきまりや約束の確認(休み時間の過ごし方・チャイム等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「はるがきた」</li> <li>・さし絵をもとに話を想像する。</li> </ul>

## スタートカリキュラム 第2週

	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目
朝の時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上級生の補助</li> <li>・お絵かきや読書等</li> </ul>				
1時間目	なかよしタイム				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽「うたってうごいて みんなでおんがく」</li> <li>リズム遊び、知っている歌等</li> <li>・図工「どんどんかくのは たのしいな」お絵かき、塗り絵等</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語「おはなしききたいな」</li> <li>ICTを活用し、読み聞かせ等を行い、本に慣れ親しむ。読み聞かせ</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語「わたしのなまえ」</li> <li>・友達・先生に進んであいさつし、名前を言ってみる。</li> </ul>
2時間目	生活	生活	生活	体育	国語・生活
	<ul style="list-style-type: none"> <li>「わくわくどきどきすがわがくえん」</li> <li>・学校内の遊具や校庭で好きな遊びをする。</li> <li>児童一人一人の様子を確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「わくわくどきどきすがわがくえん」</li> <li>・お世話になっている6年生と交流し、深め合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「わくわくどきどきすがわがくえん」</li> <li>・近い学年である2年生と一緒に歌うなど交流する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「体づくりの運動遊び」</li> <li>・遊びを通して、手軽な運動を行う。約束を守り、仲間作りをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「わくわくどきどきすがわがくえん」</li> <li>「みんなのなまえ」</li> <li>・自分の名前を書いたカードを作る。</li> </ul>
のびのびタイム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の様子確認</li> <li>・トイレ指導等</li> </ul>				
3時間目	国語	算数	国語	算数	学活
	<ul style="list-style-type: none"> <li>「はるがきた」</li> <li>・あらすじを考えたり、絵から想像したことを発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「なかよしあつまれ」</li> <li>・学校内の身近な物などを活用して数を数える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「はるがきた」</li> <li>・あらすじを考えたり、絵から想像したことを発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「なかよしあつまれ」</li> <li>・形などを捉え、学校内の身近な物などと連動して考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「1学期のめあて」</li> <li>・トイレや学校の施設の使い方について考える。</li> </ul>
4時間目	/	生活・学活			
給食		<ul style="list-style-type: none"> <li>「わくわくどきどきすがわがくえん」、「楽しい給食」</li> <li>・給食の準備や後片付けについて指導し、早めの給食準備を行う。</li> </ul>			
清掃 昼休み		<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の様子確認(友達との会話、食べる量など)</li> </ul>			
その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃指導(6年生を含め)</li> <li>・児童の様子確認</li> <li>・トイレ指導等</li> </ul>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・上級生の補助(朝の活動)</li> <li>・保護者との連携</li> <li>・学年での情報共有</li> <li>・給食後下校</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・上級生の補助(朝の活動)</li> <li>・授業時間の増加に伴う子どもの学校生活・過ごし方の確認(体調管理等)</li> </ul>

1年生スタートカリキュラム（年間指導計画 生活科）

○教科書との関連

「きょうから1ねんせい」、「わくわくどきどきしょうがっこう」の単元を以下の計画と関連付ける。

○他教科との関連

入学直後は、生活科の学習活動を中核として、国語科、音楽科、図画工作科などの内容との関連を図り、合科的な指導を展開する。

○言語活動の充実

子どもなりの表現を生かしながら、子ども同士で伝え合う場や機会を設定する。

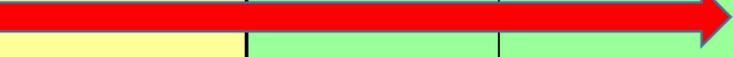
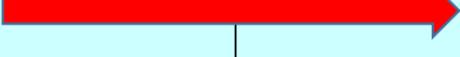
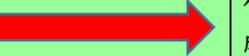
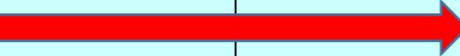
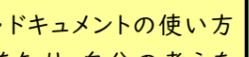
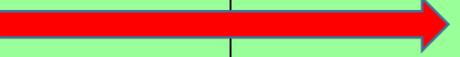
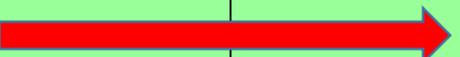
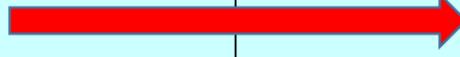
○道徳教育との関連

体験を通して思考する子どもの実態から、遊びや探検などの学習活動と道徳の教材を関連させ、効果的な指導を行う。

【単元名】きょうから1ねんせい ・ わくわく どきどき すながわがくえん 3 7時間扱い（生活20・国語6・算数1・音楽2・図工2・体育1・道徳3・学活2）		4. 5月上旬		
目標	① 友達や先生、上級生など学校の人との関わりを深めながら、楽しく安全に生活することができる。 ② 学校及び周辺の施設や関わる人々がわかり、決まりやマナーを守りながら、共に生活することの楽しさに気付く。			
	ねらい	主な学習活動	教師の支援・留意事項	他教科等との関連
ともだちいっぱい10	○学校の友達の名前を覚えて、遊んだりしながら仲良くなる。 ○校庭・校内の遊具などの使い方を覚え、楽しく使うことができる。 ○同学年との遊びなどを通して関わりを深める。	1 友達と遊ぼう（3） ・校庭や遊具で好きな遊びをする。 ・遊具や施設の使い方や決まりを考える。 2 自分のことを伝えよう（3） ・みんなの前で自己紹介をする。 ・他の友達の名前を覚える。 ・上級生との交流を行う。 3 みんなと遊ぼう（4） ・音楽に合わせてゲームをしたり、歌ったりする。 ・体育館で一緒に遊ぶ。	・遊具の使い方やルールを話し合って決めることができるようにする。 ・自信をもてない児童に話をする内容を聞き取りながら紹介させる。 ・引き継いだ情報をもとに、一人一人への配慮をしながら活動させる。	国語「はるがきた」3時間、「たのしいいちにち」1時間、「わたしのなまえ」1時間 音楽「うたってうごいてみんなでおんがく」2時間 図工「すきないろ かたち なあに」1時間 体育「体づくりの運動遊び」1時間 学活「きょうから1ねんせい」1時間 道徳「がっこうだいすき」1時間
がっこうをたのしむよう7	○校舎内外に関心を持ちながら様々な教室や先生に関わろうとする。 ○見つけたものや出会った人に自ら関わり、友達に伝えることができる。	1 みんなで見に行こう（2） ・学校内を探検し、出会った人にあいさつをしたり、話を聞いたりする。 ・見つけたものや出会った人について伝え合う。 2 学校探検に行こう（3） ・先生方を紹介し、施設や設備を探検する。 ・見たこと、聞いたことを絵に表し、友達と伝え合う。 3 学校の周りを探検しよう（2） ・安全を確認しながら、通学路を確認して歩く。 ・出会った人にあいさつをしたり、話を聞いたりする。	・探検のルールを確認し、学校探検のねらいについて教職員と共通理解を図る。 ・グループについては、引き継いだ情報をもとに構成するよう配慮する。 ・校外の危険箇所について考え、注意しながら探検させる。	国語「おはなしききたいな」1時間（図書館活用） 算数「なかよしあつまれ」1時間 図工「どんどんかくのは たのしいな」1時間 学活「楽しい給食」1時間 道徳「あいさつのことば」1時間、「きもちのよいせいかつ」1時間

	ねらい	主な学習活動	教師の支援・留意事項	他教科等との関連
どんなひとがいるのかな 3	<p>○学校内外で関わる人々について知る。</p> <p>○今後の関わり方について考え、友達と伝え合う。</p>	<p>1 学校の先生方の仕事を聞こう（2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健室の役割を養護教諭から聞く。</li> <li>・給食に関して、栄養教諭から話を聞く。</li> <li>・事務職員や公務補等の紹介と仕事に関する話を聞く。</li> <li>・管理職についても紹介するなどの関わりを持たせる。</li> </ul> <p>2 学校の外でみてくれる人について知ろう（1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全を守ってくれる人（交通指導員や見守り隊等）と関わる。</li> <li>・避難訓練等にも大きく関わることから、早いうちに消防署との関係をもたせる。</li> <li>・その他、児童館等、1年生と関わりのある人たちの紹介を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に校内の教職員の理解と校外の外部人材に目的を理解してもらい取組を進める。</li> <li>・コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の観点から地域と子どもをつなげ、子どもの安心感をもたせる活動にする。</li> </ul>	

# クロームブック使用における ICT スキル体系表 (令和8年度)

	入門期 (クロームブックを知る)		活用期 (クロームブックの操作がわかる)		発展期 (教師主体から児童生徒主体へ)			創造期 (相手意識をもって)		備考
	1stステージ				2ndステージ			3rdステージ		
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	7年生	8年生	9年生	
基本的な操作 	<ul style="list-style-type: none"> <li>QRコードを使ってログインすることができる。</li> <li>タブレット画面に触れて操作することができる。</li> <li>クラスルームに入ることができる。</li> <li>教師の貼ったリンクを開くことができる。</li> <li>カメラを使って写真や動画を撮り、学習に生かすことができる。</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>クロームキャストで自分の画面を映すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネットを使って、調べたい情報を得ることができる。</li> <li>撮影した画像を、他のアプリで使うことができる。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>ドライブの種類を使い分け、目的に応じてデータを管理できる (マイドライブ、共有ドライブなど)</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が使用しやすい設定への変更や、ショートカットキーの活用。</li> </ul>
タイピング	<ul style="list-style-type: none"> <li>入力が必要な際は手書き入力機能を設定する。</li> <li>1年生からタイピング練習ソフトに触れさせていく。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>正しい指使いで、ローマ字入力を基本とする。</li> <li>1分間に50文字程度の入力を目標とする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>正しい指使いで、タッチタイピング習得を目指す。</li> <li>1分間に80文字程度の入力を目標とする。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>正しい指使いで、タッチタイピングができる。</li> <li>1分間に100文字程度の入力を目標とする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>寿司打、タイピングコロシウム等の活用。</li> </ul>
アプリの活用	フォーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>フォームの選択式の問題やアンケートに答えることができる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>フォームの記述式の問題に答えることができる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>フォームの作成方法を知り、アンケートを取ることができる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じてアンケートやテストを作成し、結果を集約することができる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>フォームを使ったミニテスト等の活用。</li> </ul>
	ミーティング	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラスルームに貼られたミーティングのリンクに接続し、簡単な操作ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミーティングを学習に活用することができる。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>チャット機能を活用することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて会議を主催することができる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>リモート学習だけでなく、通常時にも教室と離れた場所をつなぐ等の活用。</li> </ul>
	ドキュメント			<ul style="list-style-type: none"> <li>ドキュメントの使い方を知り、自分の考えを記述することができる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>ドキュメントを活用し、必要に応じて写真やイラストなどを挿入し自分の考えをまとめることができる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザインを意識して文書を作成することができる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業文集で使用、授業のまとめの蓄積、音声入力の活用等。</li> </ul>
	スライド			<ul style="list-style-type: none"> <li>スライドの使い方を知り、スライド1枚程度で自分の伝えたいことをまとめることができる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>複数枚のスライドに写真やイラストなどを挿入し、自分の考えをまとめて発表することができる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>アニメーションや動画を効果的に活用して、自分の考えをまとめて発表することができる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じた動画編集機能などの効果的活用。</li> </ul>
	スプレッドシート					<ul style="list-style-type: none"> <li>理科や算数のデータを活用する場面で簡単な表やグラフを作成することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師のフォーマットによる共同編集ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的に応じて、簡単な関数 (合計や平均など) を活用することができる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>スプレッドシートで作成した表やグラフをドキュメントやスライドに貼り付け、わかりやすい資料を作成するなどの工夫。</li> </ul>
その他のアプリ		<ul style="list-style-type: none"> <li>パドレットの活用 (振り返り等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パドレットの活用 (交流・振り返り等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パドレットの活用 (交流・振り返り等)</li> <li>キャンパの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パドレットの活用</li> <li>ふきだくんの活用</li> <li>キャンパの活用</li> <li>Kahoot!の活用</li> </ul>					

※インターネット利用に係るルールやマナーについては随時指導する。